

問9 次の文章は、架空送電線の振動に関する記述である。

架空電線が電線と直角方向に毎秒数メートル程度の風を受けると、電線の後方に渦を生じて電線が上下に振動することがある。これを (ア) 振動といい、軽い電線で、径間が (イ) ほど、また、張力が大きいほど発生しやすい。対策としては、電線にダンパを取り付けて振動を抑制したり、断線防止策として支持点近くを (ウ) で補強したりする。

電線に付着した氷雪が落下したときに発生する振動は、 (エ) と呼ばれ、相間短絡防止策としては、電線配置にオフセットを設けることなどがある。また、電線に翼形に付着した氷雪に風が当たると、電線に揚力が働き複雑な振動が生じる。これを (オ) といい、この振動が激しくなると相間短絡事故の原因となるため、主な防止策として、相間スペーサの取り付けがある。

上記の記述中の空白箇所(ア)～(オ)に当てはまる組合せとして、正しいものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
(1)	サブスパン	短い	アーマロッド	スリートジャンプ	ギャロッピング
(2)	微風	短い	アーマロッド	ギャロッピング	スリートジャンプ
(3)	微風	長い	アークホーン	スリートジャンプ	ギャロッピング
(4)	サブスパン	長い	アークホーン	ギャロッピング	スリートジャンプ
(5)	微風	長い	アーマロッド	スリートジャンプ	ギャロッピング